

第70回富山県高等学校柔道選手権大会救護に参加して

高岡ブロック 前原 征一

柔道競技を行う高校生の最重要な大会である富山県高等学校柔道選手権大会が射水市アルビス小杉総合体育センターで新型コロナウイルス対策のもと、開催されました。昨年の開催は無く、今年是对策の一環で検温・消毒を玄関でチェックし令和3年6月5・6日の2日間にわたり全国大会出場の権利を得るため、力と技を競う熱戦が繰り広げられました。初日は男女団体、個人1回戦試合・2日目は男女個人2回戦より試合が行われ、会場の中はコロナ対策で大歓声は制限されていたため、拍手だけがひびき、何か物足りなさを感じました。粛々と試合が行われるなか、救護係の私と一ノ瀬会員で、2日間25名の救護活動を行いました。大会終了後、富山県柔道連盟橘川会長に挨拶に行った際、「先生方のおかげで、試合がスムーズに開催されました。来年もぜひ、お願いします。」と感謝され、2日間の疲労も吹き飛ばすほど嬉しく思いました。救護活動を通して人に感謝される喜びは、柔道整復師としてこの上ない喜びでした。